



多くの人を魅了した花火
夏の夜空を彩る
第35回鮫花火大会

村商工会青年部主催の「第35回鮫花火大会」は8月15日に開かれ、スターマインや仕掛け花火など約1000発の花火が夏の夜空を彩りました。また、奥州鮫川太鼓保存会の太鼓演奏やよさこい踊り、案山子のコンサートなどが会場を盛り上げました。

多彩な催しでにぎわう 第13回小童まつり



小童会主催の「第13回小童まつり」は8月10日、道少田地内で行われました。まつりでは、豆腐の早食い競争やbingo大会のほか、フラダンスやよさこい踊りなど多彩な催しが繰り広げられ、家族連れなどが楽しいひとときを過ごしました。

中野Aチームが熱戦制す 村老人クラブ連合会ゲートボール大会



熱戦が繰り広げられたゲートボール

「第31回鮫川村老人クラブ連合会ゲートボール大会」は8月7日、さぎり荘ゲートボール場で開かれました。大会には、12チームが出場。予選リンク戦、決勝トーナメントを戦い、中野Aチームが優勝しました。

▶結果 ①中野A②西野A③西山B④西野C

スポーツは世代を越えて 第10回村バレー交流親善大会



バレーを通して交流した参加者

村バレー協会が主催する「第10回鮫川村バレー交流親善大会」は8月18日、村農業者トレーニングセンターで行われました。大会には、小学生から一般までの約90人が参加。混合チームを編成し、プレーを通して交流を深めました。

村政TOPICS



導入された幼児送迎バス
で、安全性を確保しました。今後、順次エアコン付きのバスに更新する予定です。

エアコン付き 幼児送迎バス導入



さめがわこどもセンターでは、エアコン付きの幼児送迎バスを導入しました。従来のバスより車体を小さくし、村内の狭い道路でも安全に運行できるほか、座席を幼児専用シートにすることで、幼児の安全性を確保しました。今後、順次エアコン付きのバスに更新する予定です。

体験を通して自然とふれあう 夏休み森林教室 in 鮫川村



綱渡りを体験する児童

森林の働きや森林整備の必要性について学ぶ「夏休み森林教室」は8月7日、村内で行われました。教室には東白川郡内の小学生約130人が参加。館山を散策しながら、自然のアスレチックや森林づくりクイズなどを通じて自然とふれあいました。

子どもたちが影絵に夢中 福島大学影絵部の夏季巡回公演



次々と現れる影絵に見入る子どもたち

福島大学児童文化研究会影絵部の夏季巡回公演は8月20日、こどもセンターで開かれました。この公演は、同部の学生が夏季休暇期間を利用して行っています。今年は学生7人が訪れ、影絵劇や影絵クイズなどを行い、子どもたちを楽しませました。

登山で親睦を深める YAMA大好き苦楽部が台倉高山登山



台倉高山山頂で記念撮影

村内登山愛好会「YAMA大好き苦楽部」は7月20日、台倉高山（桧枝岐村）登山を行いました。今回は、小学3年生を含む8人が参加し、高山植物の観察や山頂からの眺望を楽しみました。下山後は、民宿で温泉を堪能し、会員相互の交流を深めました。

村政TOPICS



導入された幼児送迎バス
で、安全性を確保しました。今後、順次エアコン付きのバスに更新する予定です。

エアコン付き 幼児送迎バス導入



さめがわこどもセンターでは、エアコン付きの幼児送迎バスを導入しました。従来のバスより車体を小さくし、村内の狭い道路でも安全に運行できるほか、座席を幼児専用シートにすることで、幼児の安全性を確保しました。今後、順次エアコン付きのバスに更新する予定です。

館山の景観整備 草刈りボランティア

村で整備を進めている館山公園の「朝草刈りボランティア」は8月4日、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」の裏山で行われました。作業には、もりづくり百



大樂村長の講話を聞く参加者

大豆・じゅうねん・工農栽培者研修会は7月26日、村民保養施設「さぎや莊」で行われました。研修会には、生産者約50人が参加。大樂村長の講話のほか、じゅうねんや大豆の利用や栽培管理方法などについて説明がありました。また、地元食材をふんだんに使った昼食が振舞われ、栽培議論をしながら交流を深めました。

栽培技術を学ぶ

大豆・じゅうねん・工農栽培者研修会は7月26日、村民保養施設「さぎや莊」で行われました。研修会には、生産者約50人が参加。大樂村長の講話のほか、じゅうねんや大豆の利用や栽培管理方法などについて説明がありました。また、地元食材をふんだんに使った昼食が振舞われ、栽培議論をしながら交流を深めました。